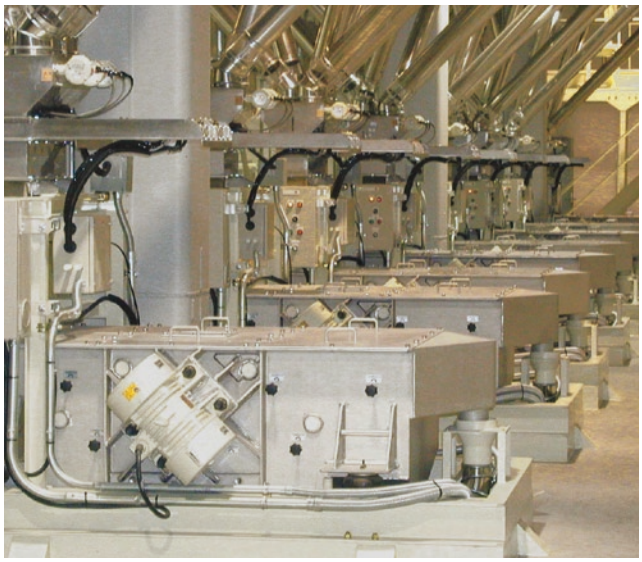
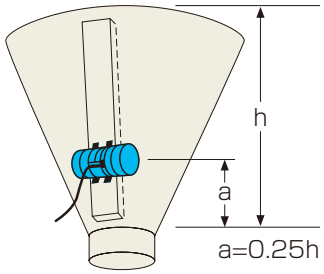
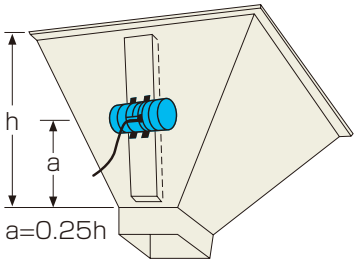
振動モータ取付けの際は、必ず同梱の取扱説明書に従って取付けて下さい!

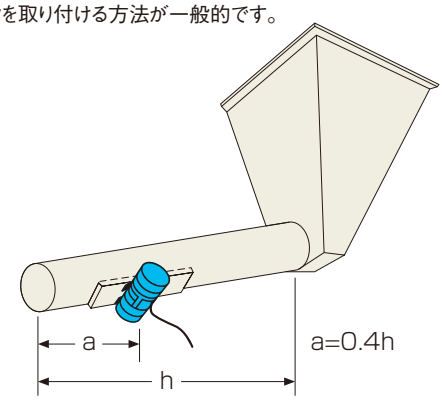


取付方法

振動モータを取り付ける対象物は、共振を起こさないだけの強度と対象範囲以外に振動を伝えない防振装置が必要です。
当初から強制振動用として設計されたホッパーでない場合、チャンネルを溶接して補強し、振動モータを取り付ける方法が一般的です。





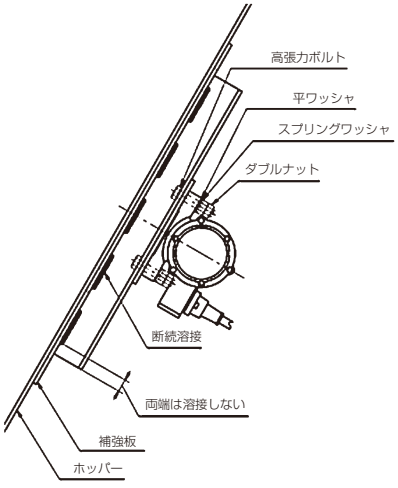


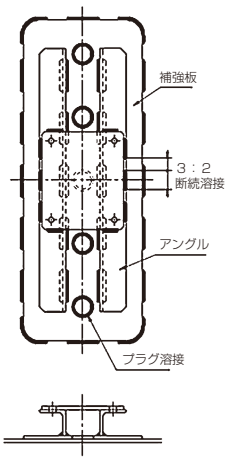
反対側にもう1台取り付ける場合はa=0.4h

振動モータの取付方法【アングル溶接方法】

ここではアングル(又はチャンネル)を使用した場合の溶接方法について説明します。当初から耐振用として設計されていないホッパーに振動モータを取り付ける場合は、アングル又はチャンネルをホッパー面に溶接して、ホッパー面の補強と広範囲に振動が伝わるように取り付けます。ホッパーに補強板を溶接した後、アングルを溶接する方法が一般的です。溶接方法は断続溶接としてピッチは3:2(溶接有り:溶接無し)程度を目安として下さい。振動モータ取り付けの際は、モータ取付面のレベル出しを行って下さい。

●溶接方法(アングルの場合)





(1)アングル(チャンネル)の溶接は断続溶接として両端はクラック防止の為に溶接しないで下さい。
(2)アングル(チャンネル)は長いほどホッパーに対するストレス保護と振動効果につながります。
(3)ホッパーに横リブがある場合はアングル(チャンネル)をリブにつき当てて溶接して下さい。
(4)モータの固定は高張力ボルトと平ワッシャ・スプリングワッシャ及びダブルナットで確実に固定して下さい。
(5)溶接棒は引張強度の高い溶接棒を使用して下さい。

※この取り付け方法は一般推奨するものであり、保証するものではありません。

★エクセンでは各種振動応用機器の設計・製作もしております。ご用命がございましたらエクセンまでお問い合わせ下さい。